

たてにわの家

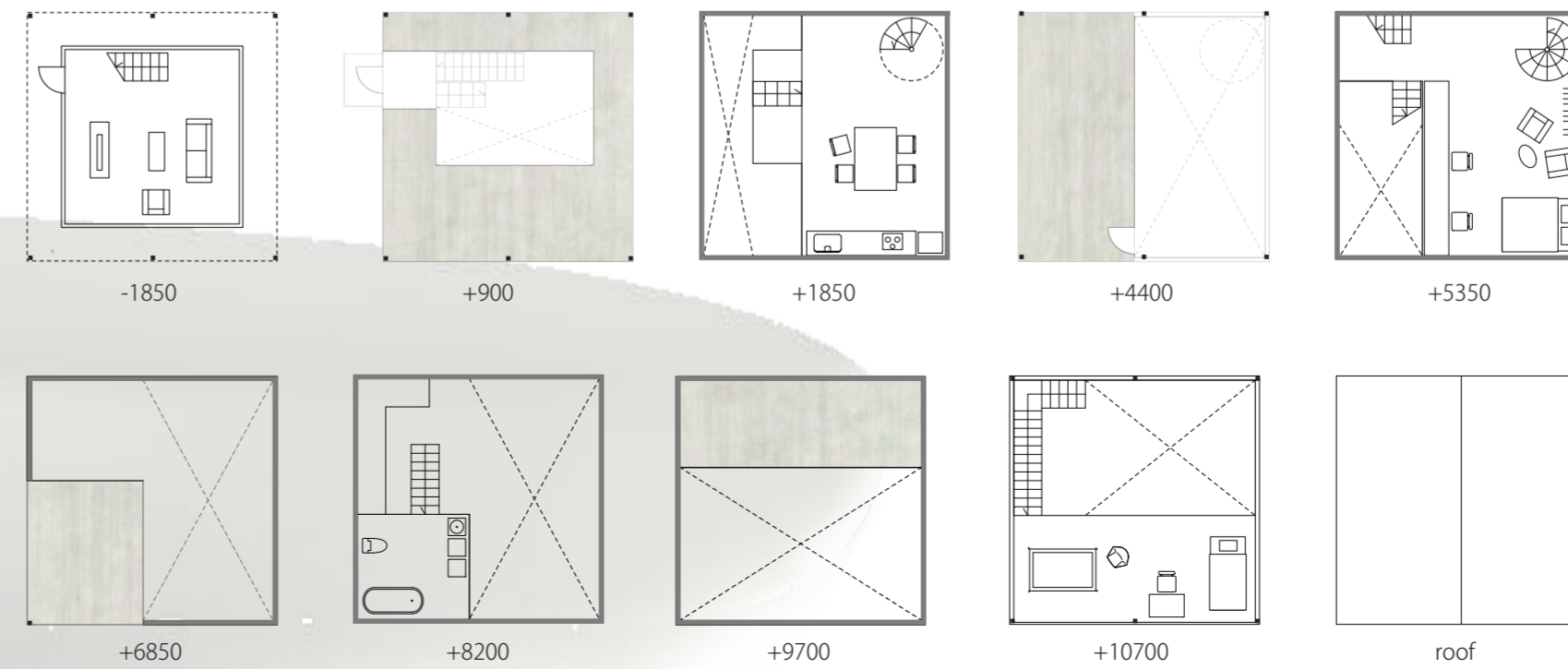
住宅において当たりまえと思われていた「うち」と「そと」の関係を捉えなおすこと。
その先にあるのは「そと」の延長上にある「うち」である。

この住宅では断面的に中庭を配置している。そうすることで、「そと」は従来の機能に加えて、「うち」と「うち」をつなぐふるまい方をするようになる。
また、上下に移動することにより視線は「うち」と「そと」を連続的に体験する。
「うち」と「そと」の不思議な距離感。それはあたかも「そと」が「うち」へとじみだしてくるような経験。

「うち」は「そと」の延長へと置かれる。
そうして未来へ投げかける射程を得ようとした。



plan; scale: 1/200



section; scale: 1/150

